

こんにちは日本共産党県議団です

議案に対する反対討論 しもおく議員

12月議会

しもおく議員は、12月議会最終日の本会議(12月20日)で、「愛知県教育委員会教育長給与条例等の一部改正について」「職員の給与に関する条例等の一部改正について」「訴えの提起について(奨学金貸付金返還請求事件)」の3議案について反対討論を行いました。

特別職の期末手当支給割合引上げより 民間・県職員など労働者の賃上げを

愛知県教育委員会教育長給与条例等の一部改正は、議長、副議長及び議員も含め特別職の職員の期末手当の支給割合を引き上げるものです。

しもおく議員は、「県民のくらしは大変厳しいものとなっています。2人以上世帯の実質消費支出は、12年12月から18年7月の間に年22万円も減少しています。年収200万円以下の労働者は12年連続で1000万人を超えました。さらに、年金や生活保護基

準の引き下げなど、格差と貧困がいっそう拡大しています。こういう中で、議長、副議長及び議員も含め特別職の職員の期末手当の支給割合を引き上げることは県民から同意が得られない」と議案に反対を表明しました。

合わせて、「民間労働者や県の臨時・非常勤職員等非正規職員の時給を1500円に引き上げることを」提案しました。



本会議で反対討論を行うしもおく議員

55歳を超える職員の昇給停止に反対

職員の給与に関する条例等の一部改正には、「55歳を超える職員で良好な成績で勤務した職員の昇給号給数2号給を昇給しない」ことが含まれています。

しもおく議員は、「昨年12月議会で、退職金手当を引き下げました。今回は55歳を超える職員の昇給停止です。これは、地方公務員の将来にわたる生活設計を大きく破壊するものです。県職員

は、長年にわたって、県民のくらしや命を守るために全力をつくしてきました。やるべきことは、55歳を超えたら昇給を停止することではなく、県民サービスの質の向上、それを担う県職員の確保、公務・公共労働者の専門性が充分発揮され、職員のやる気を引き出す、職員給与や職場環境にすることではないでしょうか」と訴えて議案に反対しました。

高校奨学金貸付金の返還を求める 訴えには賛成できない

訴えの提起(奨学金貸付金返還請求事件)は、県から貸与された高等学校等奨学金貸付金の返還を延滞している方に対し、貸付金の返還を求め

るものです。しもおく議員は、「奨学金制度は、学びを保障し、支援するためのものです。日本共産党愛知県議会議員団は、県内の高校生・大学生への給付

制奨学金制度と奨学金返済支援制度を創設し、誰もが安心して学べる環境をつくり、高等学校の全生徒の授業料無償化を求めています。教育は、子供の権利であり、家庭の経済力にかかわらず全ての子供に豊かに保障される必要があります」と、教育の充実逆行する議案について反対しました。

中部国際空港二本目滑走路は必要性も採算性もない大型開発事業 意見書(案)に対する反対討論 わしの議員

12月議会最終日(12月20日)、自民党などが提案した「中部国際空港二本目滑走路の建設促進についての意見書」にわしの議員が反対討論を行いました。

わしの議員は、①中部国際空港の旅客数が需要予測の1380万人を大きく下回っていること、②19年のラグビーワールドカップ、20年のワールドロボットサミット、26年のアジア競技大会などで旅客数が増えたとしてもイベントが終われば通常の利用状況に戻ることに、③滑走路のメンテナンスも他の空港でも中部国際空港と同じように、深夜に貨物便の利用と合わせて行っていること、④大規模改修も、滑走路1本の他の空港では夜間などの運用時間外に行ったり、仮滑走路を整備して実施していることを示し、「2本目滑走路の事業費は3000億円もの巨大大業と言われており、2本目滑走路を造ることは、必要性も採算性もない過大な大型開発事業と言わざるを得ない」と、意見書(案)に反対を表明しました。



意見書(案)に反対討論を行うわしの議員

共産党県議団の要望が実現

■ 台風の被災農家への支援を予算化

台風21号、24号による被害は甚大なものがありました。台風24号による農林水産業関係の被害総額(速報値)は25億円、そのうちビニールハウスの被害額が15億円を超えました。

共産党県議団は、農民連が行った「農業被害についての要請」に同席するとともに、11月13日には共産党県議団としても「農業被害者支援をただちに実施すること、国の支援制度に上乗せした県独自の農業被害者支援を行うこと」などを要請しました。

こうした取り組みを受けて、県としても上乗せをして補助を実施することになり、12月議会では9億85百万円の被災農家支援の補正予算がつけられました。

■ 高校のトイレを洋式化 5年かけて

12月議会では、自民党議員の質問に答える形で大村知事が県立高校のトイレの洋式化を表明しました。

19年度から5年かけて県立高校などのトイレの乾式化と洋式化を行います。131校・2000ヵ所・5300基のトイレを洋式化することになります。

トイレの洋式化については、わしの議員が16年2月議会の一般質問で「女子高生は、近くのコンビニのトイレを借りている」と生徒・保護者の声を紹介して県立高校のトイレの酷い実態を告発しました。共産党県議団は、15年4月に復活してからの毎年の予算要望で「トイレの洋式化」を要望してきました。

今回の県立高校トイレの洋式化は、共産党県議団のこうした取り組みが反映されたものです。

日本共産党県議会報告

ご意見・ご要望をお寄せください。

2019年2月発行
〒460-8501名古屋市中区三の丸3-1-2
TEL:052(954)6716 FAX:052(961)5420
http://jcp-aichi-kengi.jp/
発行日本共産党愛知県議会議員団